

公益社団法人 日本地下水学会
2023年春季講演会(東大 柏キャンパス)
プログラム

1. 期 日 2023年5月27日(土)
2. 場 所 東京大学 柏キャンパス
 〒277-8568 千葉県柏市柏の葉 5-1-5
3. 行事予定 一般講演発表(口頭発表およびポスター発表)
 学会報告会ならびに若手優秀講演賞授与式
4. 講演会参加費
 講演会 一般 4,000円、学生 2,000円

■ 一般講演発表(口頭発表24編(うち若手10編)、ポスター発表8編(うち若手3編))

日	時間	第一会場	第二会場
5月 27日 (土)	10:00 ～ 11:15	S1「シミュレーション」 【5編】	S2「水質」 【5編】
	11:15 ～ 12:15	ポスターセッション 【8編】	
	13:15 ～ 14:15	報告会・ 若手優秀講演賞授与式	
	14:30 ～ 16:30	S3「JAGH-IAH Japan Joint Session」 基調講演 【2編】 Prof. Philip Brunner Prof. Rolf Kipfer 【4編】	(15:30開始) S4「地下水利用・地中熱」 【4編】
	16:45 ～ 17:30	S5「涵養」 【3編】	S6「実験」 【3編】

■一般講演発表（25編、内若手10編）

○は発表者、☆は若手優秀講演賞選考対象者

●セッション1「シミュレーション」【5編】（第一会場 10:00～11:15）

座長： 蛭原 雅之（建設技術研究所）

副座長： 岡本 駿一（電力中央研究所）

01. 全球への適用を目指した地下水流動モデルのパラメタリゼーション

～地下水揚水を例に～

○三浦陽介（東京大学生産技術研究所）、芳村 圭（同）

02. 泥質岩中の化学的浸透現象が原位置の地下水流動

および変形に与える影響についての検討

☆廣田翔伍（東京大学大学院）、徳永朋祥（同）

03. 沿岸部塩水系地下水流動の解明に向けた研究

○町田 功（産総研）、井川怜欧（同）、小野昌彦（同）、吉原直志（同）、
吉岡正光（サンコーC）、越谷 賢（同）、三浦光隆（同）

04. 不飽和特性を考慮した地下水の流れの支配方程式への

粒子法（MPS法）の適用の検討

○日比義彦（名城大学）

05. 非定常一飽和・不飽和浸透流解析における材料非線形計算に関する一考察

○菱谷智幸（ダイヤコンサルタント）、南部いづみ（同）、進士喜英（川崎地質）

●セッション2 「水質」【5編】(第二会場 10:00~11:15)

座長：榊原 厚一 (信州大学)

副座長：森川 佳太 (ダイヤコンサルタント)

06. Applicability of Sterols for Estimating the Pollution Source

in Kumamoto City Area

☆Li, Z., Nakagawa, K., Islam, M.S., Takao, Y. (Nagasaki University)

Aihara, Y., Hosono, T. (Kumamoto University)

07. 武蔵野台地における地下水の流動にともなう水質組成変化

☆趙 明哲 (日本大学 総合基礎科学研究科)、山中 勝 (日本大学 文理学部)

08. リチウム同位体比を用いた中国地方東部の温泉水の起源の解明

☆秋柴愛斗 (高知大学)、西尾嘉朗 (同)

09. 水温と溶存酸素の連続観測による琉球石灰岩地域の

オールストレーナ観測孔での孔内流の有無の検討

○吉本周平 (農研機構・農村工学研究部門)、白旗克志 (同)、土原健雄 (同)、
中里裕臣 (前・農研機構)

10. 塩素安定同位体比を用いた深部流体の起源の検討

○富岡祐一、長谷川琢磨、楠原文武、杉山 歩 (電力中央研究所)

●セッション3 「JAGH-IAH Japan Joint Session」【4編】(第一会場 14:30~16:30)

座長： 柏谷 公希 (IAH Japan)

副座長： 吉岡 真弓 (産業技術総合研究所)

(基調講演)

■Prof. Philip Brunner 20min

New approaches for observing and simulating surface water groundwater interactions

■Prof. Rolf Kipfer 20min

The ballade of noble gases, paleoclimate and Arsenic ...

1 1 . Effects of climate gradients on freshwater lens volume in narrow islands

☆NAN ^{ナン シュウエン} Qiuyuan (東京大学)、LIU Jiaqi (同・院)、徳永朋祥 (同・院)

1 2 . A real-time data assimilation framework

with an integrated hydrological model

○Qi Tang (Universite de Neuchatel ・ University of Basel)、

Hugo Delottier (Universite de Neuchatel) 、

Oliver S. Schilling (Universite de Neuchatel ・ University of Basel) 、

Wolfgang Kurtz (German Meteorological Service) 、

Lars Nerger (Alfred Wegener Institute) 、

Philip Brunner (Universite de Neuchatel)

1 3 . ^{222}Rn as a tracer of groundwater age in alluvial aquifers

: quantifying the impact of spatially variable ^{222}Rn production

○ Morgan Peel (Universite de Neuchatel)、

Hugo Delottier (Universite de Neuchatel)、

Rolf Kipfer (ETH Zurich)、 Daniel Hunkeler (Universite de Neuchatel)、

Philip Brunner (Universite de Neuchatel)

1 4 . Data space inversion for efficient uncertainty quantification

with integrated surface and subsurface hydrologic models

○Hugo Delottier (Universite de Neuchatel)、

John Doherty (Watermark Numerical Computing)、

Philip Brunner (Universite de Neuchatel)

●セッション4 「地下水利用・地中熱」【4編】(第二会場 15:30~16:30)

座長：井岡聖一郎(弘前大学地域戦略研究所)

副座長：霜山 竣(八千代エンジニアリング)

1 5. 金沢市における地下水温度分布の特徴とその形成要因

○小泉 謙(金沢大・院/日本工営)、明圓拓真(ホクコク地水)、阪田義隆(金沢大)、
内田洋平(産業技術総合研究所)

1 6. オープンループ地中熱利用システムの持続可能性に関する研究

☆沖原 峻(三建設備工業)、阪田義隆(金沢大)、長野克則(北大)、
佐藤英樹(三建設備工業)

1 7. 地下水の経済的価値の算出方法の検討

○井川怜欧(産業技術総合研究所)、町田 功(同)、
大森達也(価値総合研究所)、柳澤一希(同)

1 8. 災害用井戸と社会関係資本

○遠藤崇浩(大阪公立大学)

●セッション5 「涵養」【3編】(第一会場 16:45~17:30)

座長：坂本 大(国際航業)

副座長：平塚 裕介(大成建設)

19. 野外観測データによるモンゴル高原試験地土壌の不飽和透水係数の算出

○開発一郎(広大)、広瀬 望(松江高専)

20. 山体地下水から扇状地地下水への流動機構の解明

○川崎雅俊、後藤 希(サントリーグローバルイノベーションセンター水科学研究所)、
田原康博、福岡庸一、吉田堯史(地圏環境テクノロジー)、中屋眞司(信州大学)

21. 発表取り消し

22. あづみの広域排水路への副次的落水による線的な地下水涵養効果の評価

○榊原厚一(信州大学)、中井菜月(信州大学)、百瀬正幸(安曇野市)、
中屋眞司(信州大学)

●セッション6 「実験」【3編】(第二会場 16:45~17:30)

座長：古川 正修(パシフィックコンサルタンツ)

副座長：岩田樹哉(アサノ大成基礎エンジニアリング)

23. ラボレベルにおける多孔質媒体内の密度流の定量評価

☆倉澤智樹(愛媛大学)、高橋仁太郎(農林水産省)、井上一哉(神戸大学)

24. 高透水性材料における飽和透水係数の算出に関する実験的検討

☆臼井寛大(茨城大学工学部都市システム工学科)、
米山俊一(茨城大学大学院理工学研究科)、藤井克博(セントラル技研)、芝 良太(同)、
鈴木明夫(セントラル技研)、荻野一彦(同)、
小林 薫(茨城大学大学院理工学研究科)、

25. 地下水位低下工法における揚水井戸の目詰まり対策に関する基礎実験

☆堀口正隆(茨城大学大学院)、小林 薫(同)、小森広己(茨城大学)、臼井寛大(同)

●ポスターセッション【8編】(11:15~12:15)

- P01. 石炭灰混合材料を対象とした短時間溶出試験法の開発
○安池慎治(電中研)、正木浩幸(同)
- P02. 地質調査孔を用いた熱応答試験
○高橋直人(日さく)、遠藤康之(PEC)
- P03. 地熱地帯における低温湧水の溶存硫化水素の起源推定
○井岡聖一郎(弘前大学地域戦略研究所)、若狭 幸(同)
- P04. 分子構造に着目した蛍光染料の保存性に関する検討
☆杉山 歩(電中研)、中田弘太郎(同)、長谷川琢磨(同)
- P05. 地質柱状図データを活用したオープンループ地中熱ポテンシャルの簡易評価
○吉岡真弓(産総研)、石原武志(同)、シュレスト・ガウラヴ(同)、内田洋平(同)
- P06. 島原半島火山帯における通年採水による地下水流動系とその降雨時変動の解明
☆石橋未来(長崎大学,現信州大学)、小嶋紳介(長崎大学)、
榊原厚一(信州大学)、利部 慎(長崎大学)
- P07. 狩野川流域における地表水・地下水交換フラックスに関する検討
○森 康二(ブルーアースセキュリティ)、知花武佳(政策研究大学院大学)、
加藤憲二(静岡大学理学部)、塚越 哲(静岡大学理学部)
- P08. Observing urban groundwater temperature fluctuations
in spring water discharge, Koganei, Tokyo
☆^{ケルシー マディソン ロメロ}Kelsey Madison Romero (The University of Tokyo)、
Jiaqi Liu (The University of Tokyo)、
Tomochika Tokunaga (The University of Tokyo)

■会場アクセス

つくばエクスプレス 柏キャンパス駅西口：

徒歩約 25 分もしくはバス約 10 分（「東大前」もしくは「東大西」下車）

※学会への参加には公共交通機関をご利用下さい。

柏地区アクセスマップ（東京大学ホームページ）

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map03_02.html



東京大学ホームページより

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam03_01_06_j.html